

平成30年度

洞爺湖町当初予算編成の考え方

虻田郡洞爺湖町

はじめに、私は、平成22年4月から2期にわたり、一刻も早い財政健全化団体からの脱却、そして未来につなげるまちづくりを基本理念に掲げ、町政の執行を担わせていただき、その実現に向け、町民との対話、公平公正、透明で開かれた行政運営を基本とし、まちの振興発展、福祉の向上、安全安心の確保など、常に町民の皆さまが、安心と希望をもって暮らすことのできる活力あるまちづくりを目指してまいりました。

この間、財政健全化団体からの脱却につきましては、当初計画より1年早い平成23年度決算をもって達成することができ、地方創生においては、人口減少問題の解決と地域のにぎわいの創出を掲げ、子育て支援策や定住施策の充実に取り組んだ結果、平成27年から平成29年の3カ年の人口動態における社会増減が、町外への転出者数の減少と住宅対策や起業による定住などにより改善されており、着実にその成果が表れているところでございます。また、産業振興や洞爺湖有珠山ジオパークを活用した交流人口の拡大による地域の活性化など、関連施策を重点的に推し進めた成果のひとつとして、年間の宿泊客数は目標に掲げていた70万人が達成される見込みであり、「世界の洞爺湖」として外国人観光客からも高い評価を得ております。

これもひとえに町民の皆さま並びに議会議員の皆さまの深いご理解、ご協力の賜物と心から感謝とお礼を申し上げます。

それでは、平成30年度洞爺湖町一般会計並びに特別会計、企業会計の当初予算、関連する条例改正など、議案のご審議をいただくに当たり、今年度当初の予算編成の考え方について申し上げます。

予算編成においては、「第2期洞爺湖町まちづくり総合計画」及び「洞爺湖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる定住施策の充実と交流人口の拡大を基本に据え、三地域の特性と洞爺湖町の持つ強みや特徴を最大限に活かしていかなければなりません。このことから、平成30年度当初予算は骨格予算ではありますが、経常経費に加え、子育て支援や産業振興、住民サービスといった継続的に実施していく施策のほか、従来進めてまいりました洞爺保育所並びに洞爺高校メモリアル公園整備工事、高砂貝塚保存整備事業を計上しており、基金の取り崩しを行わず、収支均衡を図った予算としておりますので、ご理解いただきたいと存じます。

歳入については、町税収入は、町民税で若干の増収を見込み、固定資産税においては、評価替えの影響により減収となる見込みですが、全体的には前年度と同程度の収入額としております。また、地方交付税につきましては、合併特例措置の終了に伴う段階的な縮減と公債費の償還終了による算入額の減少などにより、前年度を下回っております。町税は

11億2,921万円で歳入の約18%、地方交付税は32億円で歳入の約52%を占めており、その増減は、事務事業の実施に大きく影響を及ぼします。地方交付税は制度上、国の動向に大きく左右されるため、先行きは不透明であり、今後の動向を注視してまいります。

当町の財政状況を判断する実質公債費比率や将来負担比率などは、健全化判断比率を下回っているものの、全道平均と比較すると高い状況にあることから、平成29年度に策定した「中期財政計画」を指針とし、安定した財政運営に取り組んでまいりますので、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年度の子算規模であります。

一 般 会 計	61億3,470万円	前年度比	10.6%減
国民健康保険特別会計	13億4,653万円	前年度比	17.6%減
公共下水道事業特別会計	6億6,227万円	前年度比	0.5%減

介護保険特別会計	10億3,961万円	前年度比	3.2%減
簡易水道事業特別会計	9,851万円	前年度比	7.8%減
後期高齢者医療特別会計	1億5,908万円	前年度比	0.4%減
水道事業会計			
収益的収支	3億2,855万円	前年度比	15.6%減
資本的収支	1億4,454万円	前年度比	100.8%増

として編成いたしました。

以上、平成30年度の当初予算編成の考え方について述べさせていただきました。議会議員の皆さまをはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。